

2024年8月19日
株式会社レンタルのニッケン

新商品！「デジタルスラブ厚測定器」を開発 ～コンクリート打設時の床スラブ厚さ管理に～

株式会社レンタルのニッケン（本社：東京都港区、社長：齊藤良幸）は、株式会社竹中工務店（代表取締役社長：佐々木正人）と共同で、コンクリート打設時の床スラブ厚さを計測することが可能な「デジタルスラブ厚測定器」を共同開発しましたことをお知らせいたします。今後、製品版の開発を進め広く展開を行ってまいります。

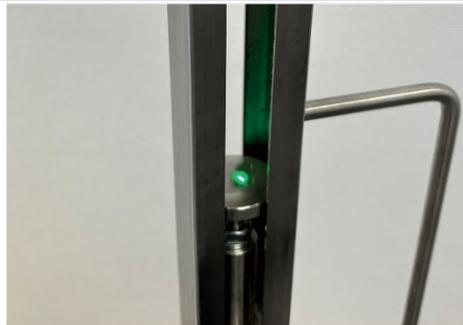
■ 本体全形・仕様図



■ 使用時の様子



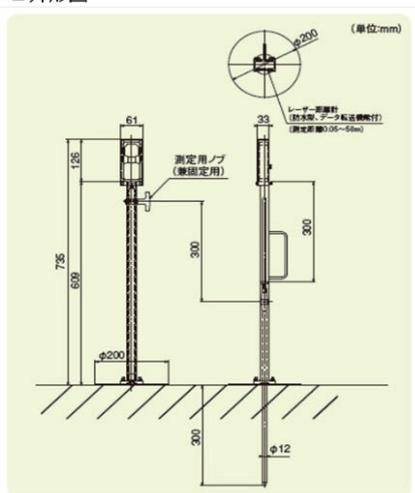
■ グリーンレーザー



■ 仕様

全体寸法	Φ200×H735mm
重量	2.7kg
測定深さ(目盛り)	0～300mm
測定深さ(距離計)	50～300mm
測定精度(レーザー測距計)	±1.5mm
測定精度(本体)	±2.0mm
本体の材質	ステンレス製
電源	単3形乾電池2本(約3時間30分)

■ 外形図



■ 外形図 (単位:mm)

φ200 (レーザー測距計 (防水型、データ転送機能付) (測定距離0.05～60m))

61 測定用ノブ (兼測定用)

33

735 630 300 300

φ200 φ12

ディプス棒

1.開発の背景

建物施工時におけるスラブ厚さの構造体寸法不足は、構造安全性に関わる重大な品質問題となります。従来、コンクリートスラブ打設中におけるスラブ厚さの確認は、レーザーレベルと受光器を用いた天端レベルの確認が主でした。実際、スラブ厚さを直接測定するには、スタッフ棒やスケールをスラブに挿入して確認する方法がありますが、アナログ表示で視認性が低いものでした。また記録用の写真として残すには撮影者ともう1名が必要となり、複数人で作業を行わなければなりませんでした。

「デジタルスラブ厚測定器」はスラブ厚さを直接測定でき、測定から記録まで1人で容易に行うことができます。そのため品質向上にも期待できると共に、確認・記録作業の省力化を実現することができます。

2.商品の特徴

- ①実際のスラブ厚さを容易に直接測定が可能
- ②本体重量は2.7kgと軽量で、持ち運びが楽々
- ③測定時は、自立するため一人で測定・記録が可能
- ④デジタル表示のため従来よりも視認性が向上
- ⑤Bluetooth連携で測定データをExcel出力することが可能

3.今後の展開

生産・レンタル・販売は、当社が担当し、竹中工務店様と共同で開発・改良を進めると共に、普及展開を図ってまいります。コンクリートスラブ打設における品質向上に努めるとともに、今後も省人・省力化に寄与する商品開発を継続して取り組んでまいります。

レンタルのニッケングループは、これからも「お客様の困った」に耳を傾け、安心・安全な商品の開発・提供に取り組んでまいります。

【本件に関するお問い合わせ先】

◆報道関連のお問い合わせ

株式会社レンタルのニッケン 広報チーム 03-6775-7825

◆その他のお問い合わせ

株式会社レンタルのニッケン 技術開発部 03-6776-7030

